

事務事業名		教師用指導書・準拠教材整備事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課		
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>		所属G	義務教育グループ	課長名	飛田 博志		
	施策名	(26)学校教育の充実		担当者名	今岡 博美	電話番号	0854-40-1072 (内線) 2283		
	目的対象	児童・生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。					
	基本事業名	(079)学校の施設・設備の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業	
目的対象	児童・生徒	意図	学習しやすい環境で学ぶ。				小(中)学校教育振興事業	小(中)学校教師用指導書・準拠教材整備事業	
				0	1	5	0	1	0
				1	0	1	0	1	6

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導書及び準拠教材の整備を図る。 ・教科書の改訂は概ね4年に1回行われ、小学校と中学校で改訂時期が異なる。 ・教科書・準拠教材は、業者が学校毎に指定されている。 	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導書及び準拠教材の整備 ・教科書採択に関する事務 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導書及び準拠教材の整備 ・教科書採択に関する事務 				
② 活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	教師用指導書整備額	千円	3,772	1,573	30,167	0
イ	準拠教材整備額	千円	1,971	915	10,701	0
ウ	インストール手数料	千円	0	0	818	0
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	児童生徒 教職員		ア	児童生徒数	人	2,803	2,783	2,697	2,667
			イ	小中学校教職員数	人	372	372	364	366
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
指導書・準拠教材の整備により授業をスムーズに行うことができる 効果的な指導を受けられる		ア	学校の授業がわかると答えた児童の割合	%	93	86	85	85	
		イ	学校の授業がわかると答えた生徒の割合	%	78	79	75	75	
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
消耗品費	30,167千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
備品購入費	10,701千円		県支出金	千円				
手数料	818千円		地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	5,743	2,488	41,686	0
		事業費計 (A)	千円	5,743	2,488	41,686		
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	200	170	250	
			人件費計 (B)	千円	815	736	1,060	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	6,558	3,224	42,746	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
基準を定めて公費負担を行っている。特別の教科書道徳について、平成30年度より小学校で、令和元年度より中学校で教科化された。指導書にデジタルブック等が付属されるようになり、全体的に値上がりしている。教師用デジタル教科書の要望も増えており、同時にインストール費用も必要になっている。	教科書及び指導書の購入に際し、購入基準を設けた。	学校は教科書・指導書、準拠教材の早期納入を希望 一部の学校では、教師用デジタル教科書の購入、インストールの要望がある。

事務事業名	教師用指導書・準拠教材整備事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	教員個人の主観に任されている部分もあり、学校全体で4年間をみこし、効果的に成果を向上させるための教材選定をしていく必要がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>令和2年度に中学校の教科書改訂に伴う整備が必要となる。</p> <p>今年度、12月補正にて予算措置をする。</p> <p>準拠教材のうち、必要な物を整備していく。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		